

## 公表

## 事業所における自己評価総括表【児童発達支援】

○事業所名	NPO法人 子育て支援 いっすね 笹谷事業所			
○保護者評価実施期間	令和7年11月18日 ~ 令和7年11月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	令和7年11月18日 ~ 令和7年11月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日				

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の満足度について、高く評価いただいている。	お子さんひとり一人に合った支援の内容や方法を実施しています。	十分に保護者から聞き取りを行い、お子さんの発達の状況を確認しながら、よりよい支援を目指します。
2	運営に係る規定や制度の変更等、必要時に丁寧に保護者に説明しています。	契約時や、内容に変更があった際に、迅速かつ丁寧に説明しています。	視覚的に、分かりやすく伝えていきます。
3	相談の申し入れに対し、対応できています。	早期対応を心がけています。また、通所日の変更などの相談にも適宜応じ、日程の調整や振り替えなど、広く対応しています。	事業所として先の見通しを持ち、ゆとりを持って対応できる体制を整えていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の活動支援について、難しさを感じています。	父母会、保護者会といった組織が無いため、活動実績がありません。	引き続き、お茶会など別の形で保護者同士が気軽に交流できる場を提供していきます。
2	幼稚園・保育園・こども園等との交流場面がありません。	地域の園に在籍しているお子さんが多いため、特に交流の場は設けていません。	通所支援の中で、他の園に在籍するお子さんと組み合わせ、グループ活動等を取り入れていきます。
3	避難訓練等、内容や実施結果の見える化に課題があります。	対象となる児童が限られることや、お子さんの通所頻度が異なることから、情報の共有が図りにくいです。	実際の訓練を行わないまでも、避難における約束事項を机上で確認するなど、実施方法について検討していきます。また、お知らせや活動報告など、広く周知に努めています。

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果【児童発達支援】

事業所名	NPO法人 子育て支援いっすね 笹谷事業所							公表日	令和8年1月10日	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	回収数	利用児童数	34
※チェック項目により無回答があり、回答合計数が合わないことがあります										
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1	0	0				お子さんの様子に合わせ、安全面に配慮しながら、必要なスペースの確保に努めています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	0	0	0				人員配置基準は満たしていますが、職員の欠席等にも十分に対応できるよう、配置の工夫をしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	2	0	2	・子供には分かりやすくしてあると思いますがバリアフリーの面にかんしてはあまりないかと…。			・個々のお子さんの特性に応じた工夫を行なながら環境設定をしていきます。 ・バリアフリーについては引き続き検討をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	0	0	0				指導前の清掃、指導後の消毒等を行い清潔に過ごせるようにしていきます。また、適宜冷暖房を使い、心地よく過ごせるようにしていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	0	0	1				お子さんの様子の観察や保護者からの聞き取りによって、お子さんひとり一人に合った支援内容を検討していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	0	0	2				支援の内容は指導時に職員より説明をしています。支援プログラムについては、昨年度より公表が義務化され、ホームページや事業所内にて公表しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	0	0	0				アセスメントを行い、お子さんの姿や保護者のニーズを把握し支援計画の作成につなげていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	0	0	3				児童発達支援ガイドライン内の「5領域」の視点を網羅した支援を行えるよう、アセスメントを十分にし支援内容を設定していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	0				個別支援計画に加え、計画に沿った支援内容についても職員間で検討・共有し、よりよい支援につなげていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されているだと思いますか。	28	0	0	1				年齢だけではなくお子さんの様子に合わせた段階を作りながら、活動を設定していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	2	0	8				保育所や認定こども園、幼稚園等に就園しているお子さんが多いため、特に交流する機会を設けていません。
保護者への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0				契約時や内容に変更がある場合に説明を行なっています。また、運営規定や支援プログラムについては、事業所内に掲示をし、いつでも閲覧できるようにしていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	1				個別支援計画については、ガイドラインで設定されている5領域と、お子さんの様子をあげながら丁寧な説明を心がけます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	5	0	5	・あったかなかつたか、あいまいなどころ…ちょっと覚えていない。			岩手県内で開催される研修を中心に、お子さんの発達に活かされるような情報を提供していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	0	0	0	・先生も親であることから、先生目線、一緒に親目線で話やアドバイスもあり、ありがとうございます。			取り組みの様子などから、成長過程やそこから見えてくる今後の課題などについて、丁寧に確認していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	0	0	1				個別支援計画に基づくモニタリングだけではなく、指導時にも助言等行っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	0	0	0				引き続き、お子さんと保護者に寄り添った支援を心がけていきます。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	3	0	12		今年度もお茶会を開催しました。参加人数が少なかったため、広く周知することで、次年度の開催にもつなげていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2	0	3		必要に応じ、時間や場所など環境を整えたうえで、対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1	0	0		電子連絡ツールや掲示板だけではなくメモの配布など、情報や連絡が十分に伝わるように適宜工夫していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	2	0	6		引き続き、電子連絡ツール『安心でんしょばと』、『いっすねつーしん』の発行、ホームページの利用などを通し発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	2		個人情報の取り扱いについては、引き続き細心の注意を払い、十分に留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	0	0	7		各マニュアルを策定し、契約時に説明をしていますが、訓練の実施や『いっすねつーしん』などで周知を図っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	0	9	・毎日や長時間いるわけではないのでくわしくは分からないが、避難訓練などはあっても良いかと思います。	今年度も避難訓練を実施しました。該当するお子さんが限られるため、実施の仕方を検討しつつ『いっすねつーしん』等での周知に努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1	0	4		策定された計画を周知しながら、引き続き安全管理を十分に行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	0	0	6		確実に連絡を行えるよう連絡先の確認を年度ごとに行っています。保護者への事故発生時の状況の説明等は、丁寧に行なっています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0	・毎回笑顔で通所しています。	引き続き、安心・安全に通所いただけるように、環境を整えていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	0	0	0	・園に登園するよりも楽しみにしており、朝の支度も早いです。 ・とても楽しみにしており、次はいつ違うのか度々確認てくる程です。	楽しみに通所いただけるように、活動内容などを工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	0	0	0	・通所して1年経ちましたが本人に改善しようという意欲が見られない。何をしても良いと思っている。先生方の指導には感謝しています。	ご満足いただけるような支援を目指していきます。

## 公表

## 事業所における自己評価結果【児童発達支援】

事業所名		NPO法人 子育て支援いっすね 笹谷事業所				公表日	令和8年1月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		お子さんの安全面なども考慮しながら、活動に必要なスペースの確保に努めています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		人員配置基準は満たしていますが、職員の欠席時等にも十分に対応できるよう、配置の工夫をしていきます。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	お子さんの様子に合わせた環境設定を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の視点に立ち、環境設定を工夫していきます。バリアフリーについては、検討しています。</li> <li>・玄関のバリアフリー化およびトイレの段差については、改善が必要。また、職員が全員集まることができる事務室(スタッフルーム)があることが望ましいと考えます。</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	活動に合わせて配置を工夫するなど、活動しやすい空間づくりを行っています。	日々の消毒作業に加え、気候やお子さんの様子に合わせた冷暖房の使用など、心地よく過ごせるように配慮していきます。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	個別対応ができる環境を整えています。	お子さんの様子に応じて、柔軟に個別対応ができるように環境を整えていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0		事業所内で共有を図り、職員の意見を積極的に取り入れながら、業務改善につなげています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	保護者向け評価表により、保護者の意向の把握に努めています。	毎年保護者の方々に事業所評価をいただき、ご意見やご要望を踏まえ、できるかぎり業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		毎日の打ち合わせや、職員会議等の中で積極的に話し合いを行い、職員の気づきや意見等を業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0	行政や相談支援事業所などの関係機関から評価をいただいている。	引き続き、関係機関からの事業所評価を実施し、業務改善につなげていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	・研修の情報の提供を行っています。 ・月1回の所内研修を実施しています。	・時間の確保が難しいため、職員体制など検討し、事業所内外で研修の機会を確保できるよう努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	ホームページでの公表に加え、紙媒体でも事業所内の各部屋にファイルを設置し、いつでも閲覧できるようにしています。	令和6年度障害福祉サービス等報酬改定において、総合的な支援の推進と支援の見える化を図るため、支援計画の作成・公表が求められるようになり、ホームページ等で公表しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0		アセスメントにより、お子さんの状況や保護者のニーズ等を踏まえて支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		児童発達支援管理責任者や支援担当者等、多角的な視点から包括的に支援の方向性について検討していきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		支援計画に加え、計画に沿った支援内容についても、職員間で検討・共有し、よりよい支援につなげています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		アセスメントに加え、保護者からの聞き取りやお子さんの行動観察等を行い、状況把握に努めています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		5領域の視点を踏まえながら、家庭や地域社会等、育ちの環境を整えるために、お子さんの発達状況に合わせて具体的な支援内容を設定していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0		児童発達支援管理責任者や支援担当者等、多角的な視点から包括的に支援の方向性について検討していきます。	

	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	お子さんの発達状況や様子に合わせて活動プログラムを実施しています。	変化への対応が難しいお子さんに対して、スマートルステップで経験を広げていけるようなプログラムの設定に努めます。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	お子さんの発達状況に応じて、対人スキルの向上をねらった小集団活動の設定について、計画に取り入れています。	お子さんの状況に応じて、個別活動と集団活動の配分等、検討していきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	支援内容や役割分担に加え、あらゆる想定を行ないながら打合せを行っています。	・引き続き、支援の充実を図っていきます。 ・個人的に充分な確認をしないでしまうことがあるので確認につとめます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	職員間で振り返りを行い、気づきを共有し、よりよい支援につなげています。	引き続き、支援の充実を図っていきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	支援を振り返り、ねらいに沿った支援の検証や次回以降の課題を確認し、改善につなげています。	支援の振り返りに加え、職員間の振り返りによる多角的な視点による意見などを記録し、今後の支援につなげていきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	定期的にモニタリングを行い、適切な支援計画の見直しにつなげています。	引き続き、適切に支援計画の見直しを行い、よりよい支援につなげていきます。
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		児童発達支援管理責任者をはじめ、お子さんの状況を把握している職員が参画できるようにしていきます。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		お子さんの理解を深め、適切な支援を目指し、各関係機関と連携を密にとり、情報を共有できる体制を整えていきます。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		保護者のニーズを確認したうえで、支援内容等について情報を共有しながら相互理解を図り、円滑に支援が引き継がれるようにしていきます。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	保護者の希望により、就学先への引継ぎ等の支援を行っています。	保護者のニーズに応じ、就学時に引継ぎ等の支援を行っていきます。また、サポートファイアルの利用も勧めています。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	2	※地域の児童発達支援センターが未設置ですが、保健センターなど各関係機関と連携を図り、支援を行っています。 ・児童発達支援センターはまだないが、こどもセンターとの連携をとっています。	引き続き、各関係機関と連携を密に取りながら情報共有を図り、包括的な支援につなげていきます。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		保育所や認定こども園、幼稚園等に就園しているお子さんが多いため、特に交流する機会は設けていません。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	通所毎に、子育てサポートとして共通理解を図っています。	お子さんの様子と一緒に観察しながら、発達状況の確認や課題解決に向けた支援の方向性などについて、共有していきます。
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	・保健センターからの情報発信を行ったり、研修等の開催要項を掲示しています。 ・子育てサポートの中で、ペアトレ等も踏まえて行っています。 ・家族等が参加できる研修の機会や情報提供もできる限り行っています。	・引き続き、積極的に情報発信を行っていきます。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	契約時や内容に変更がある場合に説明しています。今年度は専門的支援実施加算を新たに加えることについて、重要事項説明書をもとに保護者に説明を行いました。	施設内にも掲示するなど、いつでも閲覧できるようにしていきます。

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	計画の作成に際しては、お子さんの発達状況や成長課題について、保護者から聞き取りをするなど機会を設定しています。	引き続き、体制を十分に整えていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0	児童発達支援計画について、しっかりと確認したうえで同意をいただき、交付を行っています。	引き続き、丁寧な説明を心がけていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	随時、相談に応じながら、相談内容によって、早期対応を心がけています。	必要に応じ、時間や場所など環境を整えたうえで、対応していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	父母の会・保護者会の開催はありませんが、お茶会を開催し、保護者同士が気軽に交流できる機会を設けています。	保護者のご希望やご意向を確認しながら、対応を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	いつでも相談に応じることができるように、体制を整えています。相談内容により、早期対応を心がけています。	必要に応じ、時間や場所など環境を整えたうえで、対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	活動予定を週に1回、活動の様子を月に1回程度、電子連絡ツール『安心でんしょばと』を活用し、さまざまな情報の発信・周知しています。	電子連絡が主体ですが、必要に応じ、紙面でも提供していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		個人情報の取扱いについては、引き続き細心の注意を払い、十分に留意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	電子連絡ツールや掲示物に加え、口頭伝達のみではなく、メモに書いて渡すなど対応しています。	情報や連絡が十分に伝わるよう、適宜工夫していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3	事業所自体で行事を組むことがないので、招待することは無いが、地域に開かれた事業運営を心がけています。	地域の方にはさまざまな形でお世話になっていますが、行事等の交流はありません。事業所の情報発信を行うなど、対応を検討していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	各マニュアルについては、契約時に保護者に配布し、周知を図っています。	避難訓練は年2回実施していますが、対象日に該当になる利用児が限られますので、広く周知していきます。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	昨年度より策定が義務化となり、職員間で十分に共有を図り、策定と訓練の実施を行っています。	頻発する自然災害や感染症などの緊急事態に、利用者の安全確保とサービスの継続性を維持するために努めています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	保護者からの聞き取りにより事前に把握し、必要に応じて対応マニュアルを作成しています。	病院への定期受診や服薬など、お子さんの健康状態について、保護者から十分に聞き取りを行い、対応していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	指示書の提出は求めませんが、保護者からの聞き取りにより対応しています。	おやつ提供や調理の際には、保護者に確認をいただきながら、安心・安全に活動できるように対応していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	昨年度より策定が義務化となり、職員間で十分に共有を図り、策定と訓練の実施を行っています。	引き続き、安全管理を十分に行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	契約時に説明しています。また、児童票などで緊急時の連絡先を複数聞き取っておくなどの対応を行っています。	引き続き、丁寧な説明を心がけ、周知に努めています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	ヒヤリハットの共有につとめています。	・ケガや事故を未然に防ぐことに加え、有事にはヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有し、再発防止に努めています。 ・ヒヤリハットの把握は今後も留意していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	定期的に職員の研修を行い、知識や技術の向上、啓発に努めています。	引き続き、利用者の権利擁護に取り組める環境や体制を整えていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	活動時の転倒・転落等によるケガや事故など、具体例を挙げながら契約時に説明したうえで、支援計画へ記載し、確認を十分に行っています。	引き続き、安全な環境のもとで支援を行えるように、環境や体制を整えていきます。